

## 平成 25 年度事業報告

平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日まで

### 1. 定時会員総会に関する事項

平成 25 年 6 月 11 日、日本アクチュアリー会 大会議室にて会員総会を開催し、平成 24 年度 事業概況の報告の件

を報告し、

第 1 号議案 平成 24 年度 貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財産目録の承認の件

第 2 号議案 理事及び監事の選任の件

を諮り、原案どおり承認された。

### 2. 会員の異動状況

本年度の会員の異動は、法人会員については入会 1 法人、個人会員については入会 383 名、退会 145 名があり、平成 26 年 3 月末の会員数は、下表のとおりとなった。

入会法人会員

MSCI Inc.

以上 1 法人

正 会 員	1,435 名
準 会 員	1,274
研 究 会 員	1,987
小 計	4,696
法 人 会 員	114 法人
合 計	4,810 名・法人

### 3. 事業報告

〔試験関係〕

#### (1) 平成 25 年度資格試験の実施

平成 25 年 12 月 16 日、17 日及び 18 日の 3 日間、東京（TOC 五反田）及び大阪（天満研修センター）において実施し、平成 26 年 2 月 14 日に合格者を発表した。第一次試験の受験科目総数は 3,194 科目、うち合格科目数は 958 科目、第二次試験の受験科目総数は 1,214 科目、うち合格科目数は 186 科目、全科目合格者は 73 名であった。

#### (2) 平成 25 年度 CERA 試験の実施

平成 25 年 10 月 1 日、東京（TKP 大手町カンファレンスセンター）において実施し、平成 26 年 1 月 20 日に合格者を発表した。受験者数は 54 名、うち合格者数は 9 名であった。

#### (3) 教科書の改訂

「年金」教科書について、6 分冊（退職金制度および企業年金制度の税務）を廃止し、必要な内容を適宜 1 分冊に集約し、5 分冊構成とした。

〔教育・研修・研究発表関係〕

#### (1) 平成 25 年度アクチュアリー講座の実施

平成 25 年 5 月 7 日から平成 25 年 10 月 3 日の期間、基礎講座 12 科目及び特論講座 8 科目を実施した。受講者数は基礎講座 110 名、特論講座 46 名であった。

(2) 平成 25 年度関西委員会アクチュアリー講座の実施

平成 25 年 8 月から平成 25 年 10 月の期間、生保数理、年金数理、損保数理の 3 科目について、関西委員会アクチュアリー講座を実施した。受講者数は生保数理 3 名、年金数理 6 名、損保数理 7 名であった。

(3) 平成 25 年度アクチュアリー追加演習講座の実施

平成 25 年 10 月 1 日から平成 25 年 12 月 6 日の期間、生保数理演習、損保数理演習、年金数理演習及びモデリング演習の 4 科目を実施した。受講者数は生保数理演習 41 名、損保数理演習 69 名、年金数理演習 41 名、モデリング演習 17 名であった。

(4) 平成 25 年度年次大会・IT 研究大会の開催

年次大会は、平成 25 年 11 月 7 日、8 日の 2 日間、経団連会館及び東京ステーションコンファレンスにおいて、IT 研究大会は、平成 25 年 11 月 21 日、22 日の 2 日間、三井生命本店（大手町野村ビル）において開催した。

(5) 例会の開催

① 平成 25 年 6 月 7 日

「The Use of Annual Mileage as a Rating Variable」

Jean Lemaire 氏（米国ペンシルバニア大学）

② 平成 25 年 7 月 17 日

「ERM～日本のリスク管理体制を確認しつつ、米国の統計と比較を行う～」

デビッド・ベッチャー氏（RGA）

③ 平成 25 年 9 月 11 日

「リアルワールドデータによる医療実態の把握」 木村 真也 氏（㈱日本医療データセンター）

④ 平成 25 年 10 月 4 日

「IFRS Insurance Contracts 2013 Exposure Draft-Overview and Earnings Impact」

R.Thomas Herget 氏、Michael Lokerman 氏（PwC）

⑤ 平成 26 年 2 月 17 日

「Designing and Implementing an Internal Model」 および

「Surviving the next crisis, A risk management perspective」

Michel Dacorogna 氏（SCOR）

⑥ 平成 26 年 3 月 5 日

「ORSAに向けたオペレーショナル・リスク、ストレス・テスト、リスク選好の進歩  
(Advances in Implementing Operational risk, Stress Testing

and Risk Appetite for ORSA)」 Joshua Corrigan 氏（ミリマン）

(6) 関西委員会例会の開催

① 平成 25 年 8 月 26 日

「新しい保険商品・サービス及び募集ルールのあり方について」

洲崎 博史 氏（京都大学）

② 平成 25 年 11 月 15 日

「ERMに関する最近のトピックスおよびCERAの状況について」

辻 芳彦 君（大同生命）

③ 平成 26 年 3 月 28 日

「平成 25 年度関西委員会分科会活動報告」

各分科会

(7) ムーンライトセミナーの開催

平成 25 年 11 月から平成 26 年 3 月にかけて以下のテーマで実施した。

- ① R プログラミングによる線形モデル・一般化線形モデルの作成

内藤 和晃 君 (早稲田大学)

- ② 海外における EV 開示内容の研究—事例調査を中心に

土井 和行 君 (タワーズワトソン)

- ③ 生保発生率の最良推定およびリスク量の計測について

関口 健太郎 君 (アクサ生命)

- ④ 損害保険会社の統合的リスク管理の実務と課題

セミナー部会委員

- ⑤ グローバル金融規制の最前線 ~ Beyond Solvency II

石岡 秀之 氏 (あらた監査法人)

村永 淳 氏 (あらた監査法人)

西原 立 君 (あらた監査法人)

(8) 関西セミナーの開催

- ① 平成 26 年 1 月 14 日

「保険契約者の財産的持分およびそれに関わる諸問題」

我妻 佳祐 君(京都大学)

- ② 平成 26 年 2 月 14 日

「現物給付型保険に関する一考察」

「日本の自動車保険等級制度改正の分析と考察」

「擬似値を用いた介護保険の推移確率推定」

「為替オプションの評価方法策定」

「従属性を考慮した VaR の評価」

京都大学保険数学ゼミ学生

(9) プロフェッショナルリズム研修の実施

平成 26 年 2 月 24 日、正会員（今年度の資格試験で全科目に合格した準会員を含む）及び準会員（今年度の資格試験で基礎科目すべてに合格した者を含む）を対象に次の研修内容で実施した。受講修了者は、148 名であった。

IAA シラバスとプロフェッショナルリズム

村田 富生 君 (三井生命)

アクチュアリーと行動規範について

奈良 伸一 君 (明治安田生命)

生保のプロフェッショナルリズム

中村 亮一 君 (日本生命)

損保のプロフェッショナルリズム

木村 和弘 君 (日本興亜損害)

年金のプロフェッショナルリズム

片寄 郁夫 君 (りそな銀行)

藤井 康行 君 (新日本監査法人)

(10) CERA 研修の実施

平成 25 年 11 月 1 日及び 2 日の 2 日間、CERA 試験の受験者を対象に、リスク管理・ALM 等に関する講義やケーススタディによるグループワークを行った。受講修了者は 18 名であった。

(11) アクチュアリー海外研修の実施

生保、年金、損保をテーマとする 3 班に分かれて、第 4 回アクチュアリー海外研修を実施した。生保班及び年金班は米国アクチュアリー会 (SOA) の年次大会参加を中心に サンディエゴ・ニューヨークにて平成 25 年 10 月 19 日から 31 日の期間で研修を行い、損保班は米国損保アクチュアリー会 (CAS) の年次大会参加を中心にミネアポリス・ニューヨークにて平成 25 年 11 月 2 日から 13 日の期間で研修を行った。参加者は、生保班 15 名、年金班 5 名、損保班 6 名であった。

## (12) Open Discussion Forum について

平成 25 年 12 月 6 日、アクチュアリー会大会議室にて Open Discussion Forum を開催し、外国人アクチュアリーなどと英語によるディスカッション等を行った。

## 〔調査・研究活動〕

### (1) 標準死亡率諮問委員会の開催

平成 25 年 10 月 24 日に開催された第 19 回標準死亡率諮問委員会において、「生保標準生命表 2007（死亡保険用）」、「生保標準生命表 2007（年金開始後用）」及び「第三分野標準生命表 2007」について、平成 26 年度に継続適用することが了承された。

### (2) 国際会計基準・保険監督の国際基準への対応

国際会計基準及び保険監督の国際基準については、IASB（国際会計基準審議会）及び IAIS（保険監督者国際機構）において精力的な検討がなされており、それぞれの機関会員である IAA（国際アクチュアリー会）は、アクチュアリー専門職団体として、委託研究等の活動を行っている。本会は、IAA の委員会活動に積極的に参画するとともに、国際基準対策委員会等において経済価値ベースのソルベンシー規制についての検討などを進めている。

### (3) 実務基準の整備

- ① 平成 25 年 11 月に IASB から IAS19 の改定（Defined Benefit Plans: Employee Contributions）が公表されたことに伴い、「退職給付会計に関する数理実務ガイダンス」について、平成 26 年 1 月に所要の改定を行った。
- ② 公益社団法人への移行に伴い、「生命保険会社の保険計理人の実務基準」、「損害保険会社の保険計理人の実務基準」、「全国共済水産業協同組合連合会の共済計理人の実務基準」、「全国共済農業協同組合連合会の共済計理人の実務基準」について、平成 26 年 3 月に所要の改正を行った。

### (4) 委員会等の活動

各委員会・部会・研究会・ワーキンググループ・プロジェクトチームにおいては、年度始に定めた目的・ミッションに基づく調査・研究などの活動を行い、その活動状況等を本会ホームページに掲載するとともに、調査・研究の成果としてまとめたものについては、会員専用のホームページ・会報別冊等を通じて公表した。

## 〔意見表明〕

### (1) IAA のカOUNシルでの投票（電子投票を含む）

- ① 平成 25 年 5 月、2014 年度会費等に関して、賛成として投票を行った。
- ② 平成 25 年 8 月、国際アクチュアリー実務基準の戦略的なアクションプラン等に関して、賛成として投票を行った。
- ③ 平成 25 年 10 月、役員交代等に関して、賛成として投票を行った。
- ④ 平成 25 年 11 月、将来の IAA ミーティングの開催地等に関して、賛成として投票を行った。
- ⑤ 平成 26 年 2 月、資産運用方針とガイドラインの改正等に関して、賛成として投票を行った。
- ⑥ 平成 26 年 3 月、会員資格等に関して、賛成として投票を行った。
- ⑦ 平成 26 年 3 月、監査済みの財務諸表（案）の承認に関して、賛成として投票を行った。

- (2) 平成 25 年 7 月、IASB（国際会計基準審議会）に対し、確定給付制度に関する公開草案「Defined Benefit Plans : Employee Contributions ( Proposed amendments to IAS19 ) 」に対する意見を年金数理人会と連名で提出した。
- (3) 平成 25 年 8 月、ASBJ（企業会計基準委員会）に対し、実務対応報告公開草案第 39 号「従業員等に信託を通じて自社の株式を付する取引に関する実務上の取扱い(案)」に対する意見を年金数理人会と連名で提出した。
- (4) 平成 25 年 10 月、IASB（国際会計基準審議会）に対し、保険契約に関する公開草案に対する意見を提出した。
- (5) 平成 26 年 2 月、IAA に対し、保険契約に関する国際アクチュアリー実務基準（ISAP4）の趣意書案に対する意見を提出した。
- (6) 平成 26 年 3 月、IAA に対し、公開草案「ISAP 3 Actuarial Practice under IAS 19 Employee Benefits」に対する意見を年金数理人会と連名で提出した。
- (7) IAA 迅速処理案件  
次の案件に対する IAA 意見について、本会からは迅速処理適用に反対する意見は表明しなかった。
  - ① 平成 25 年 7 月、IASB 従業員拠出（IAS 第 19 号の修正案）の公開草案
  - ② 平成 25 年 9 月、FSB 実効的なリスクアペタイト・フレームワークの諸原則の市中協議文書
  - ③ 平成 25 年 9 月、IOPS 年金の監督当局のガバナンスに関する優良慣行の草案
  - ④ 平成 25 年 10 月、IASB 保険契約の会計処理に関する提案の改訂公開草案
  - ⑤ 平成 25 年 10 月、FSB 金融機関の実効的な破綻処理の枠組みの主要な特性の市中協議文書
  - ⑥ 平成 25 年 12 月、IAIS 国際的に活動する保険グループの監督のための共通の枠組みの草案
  - ⑦ 平成 26 年 1 月、IASB 財務報告に関する概念フレームワークの見直しのディスカッション・ペーパー
  - ⑧ 平成 26 年 1 月、FSB リスク文化に関する金融機関と監督当局の相互作用に関するガイダンスの市中協議文書
  - ⑨ 平成 26 年 1 月、IAIS グローバルなシステム上重要な保険会社（G - SIIs）に適用する基礎的資本要件の市中協議文書

#### 〔国際関係〕

##### (1) IAA 活動

IAA の委員会活動に積極的に参画し、IAA から IASB、IAIS 等への意見発信に参画している。

##### (2) 第 41 回東アジア・アクチュアリー講座（ASEA）の実施

平成 25 年 9 月 24 日から 27 日までの 4 日間にわたり、東アジアを中心とする 6 地域から 15 名の参加を得て、アクチュアリーが関わる日本の諸制度の状況等についての講義を実施した。

##### (3) 国際会議等への派遣等

次のとおり国際会議等に会員を派遣した。

- ① 平成 25 年 5 月 21 日～24 日 ASTIN コロキアム (於:オランダ ハーグ)  
森本 祐司 君
- ② 平成 25 年 5 月 22 日～26 日 IAA 会議 (於:オランダ ハーグ)  
五十嵐 勉 君、野呂 順一 君、坂本 純一 君、村田 富生 君、小野 正昭 君、吉村 雅明 君、  
河野 年洋 君、橋詰 信介 君、中村 吉男 君、中村 亮一 君、橋本 英司 君、辻 芳彦 君、  
西村 泰介 君、中野 陽介 君
- ③ 平成 25 年 6 月 24 日～26 日 AFIR/ERM・PBSS コロキアム (於:フランス リヨン)  
坂本 純一 君、横尾 典昭 君
- ④ 平成 25 年 8 月 1 日～2 日 IAA 保険会計委員会の臨時会議 (於:英国 ロンドン)  
中村 吉男 君
- ⑤ 平成 25 年 9 月 10 日～11 日 中国アクチュアリー会年次大会 (於:中国 長沙)  
前林 義明 君
- ⑥ 平成 25 年 10 月 9 日～13 日 IAA 会議 (於:シンガポール)  
浅野 紀久男 君、村田 富生 君、坂本 純一 君、小野 正昭 君、河野 年洋 君、重原 正明 君、  
中村 亮一 君、中村 吉男 君、橋本 英司 君、吉村 雅明 君、辻 芳彦 君、吉田 英幸 君、  
山崎 浩 君、前林 義明 君
- ⑦ 平成 25 年 10 月 15 日～18 日 EAAC 会議 (於:シンガポール)  
村田 富生 君、前林 義明 君
- ⑧ 平成 26 年 3 月 26 日～30 日 IAA 会議 (於:アメリカ ワシントン DC)  
浅野 紀久男 君、村田 富生 君、坂本 純一 君、小野 正昭 君、河野 年洋 君、重原 正明 君、  
中村 吉男 君、吉村 雅明 君、辻 芳彦 君、山崎 浩 君、前林 義明 君
- ⑨ 平成 26 年 3 月 30 日～4 月 4 日 ICA 会議 (於:アメリカ ワシントン DC)  
浅野 紀久男 君、村田 富生 君、前林 義明 君
- ⑩ 平成 26 年 3 月 30 日～4 月 4 日 AFIR/ERM、ASTIN、PBSS コロキアム (於:アメリカ ワシントン DC)  
山下 実若 君、森本 祐司 君、小野 正昭 君、坂本 純一 君、片寄 郁夫 君

#### (4) SOA ERM Webcast2014

平成 26 年 2 月 27 日～3 月 6 日に行われた ERM に関する Webinar の開催に SOA 等とともに参画した。

#### (5) 国際交流関係

平成 25 年度年次大会に、第 18 回 EAAC 会議 (台湾) 組織委員長が参加。

#### [評議員会]

- (1) 平成 26 年 3 月 4 日に平成 25 年度評議員会を開催し、平成 25 年度事業概況 (案)、平成 26 年度事業計画 (案)、継続教育制度を通じたアクチュアリーブランドの向上について審議した。

#### [産学共同]

- (1) 京都大学より保険数理及び年金数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君 (住友生命)、上原 尚 君 (住友生命)、大嶋 孝造 君 (住友生命)、杉本 和大 君 (大同生命)、片寄 郁夫 君 (りそな銀行)、豊留 健 君 (日本生命)、中山 素生 君 (日本生命) 及び南 嘉博 君 (日本生命) を派遣した。
- (2) 大阪大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君 (住友生命)、堀井 俊宏 君 (大同生命) 及び森 教輔 君 (日本生命) を派遣した。

- (3) 神戸大学より保険数理の講師派遣の依頼があり、浅野 淳 君（住友生命）を派遣した。
- (4) 東京大学より社会数理特別講義の講師派遣の依頼があり、中村 亮一 君（日本生命）を派遣した。
- (5) 平成 25 年 5 月 31 日から 6 月 5 日に京都大学で日本アクチュアリー会の協賛としてジャンルメール教授（米国ペンシルバニア大学ウォートン・スクール）による連続講義が開催された。
- (6) 保険に関する研究などを目的とする日本保険学会と連携するため、日本保険学会の賛助会員として入会することとした。

#### 〔表彰関係〕

##### (1) 平成 24 年度資格試験成績優秀者の表彰

###### ① 理事長特別賞・理事長賞の授与

平成 25 年 6 月 11 日に、溝田 裕樹 君（東京海上日動）に理事長賞を授与した。

###### ② 科目別成績優秀賞の授与

同日、数学 14 名、生保数理 13 名、損保数理 1 名、年金数理 17 名、会計・経済・投資理論 7 名を表彰した。

##### (2) 優秀論文の表彰

###### ① 平成 25 年 11 月 7 日、年次大会において、次の優秀論文を表彰した。

「死亡率の将来推定手法に関する一考察～第 2 因子を用いた Lee-Carter モデル～」

近藤 勇志 君（明治安田生命）

###### ② 平成 25 年 11 月 21 日、IT 研究大会において、次の IT 関係優秀論文 2 編を表彰した。

「金融機関（保険会社）の事業継続計画（BCP）を支える新しい働き方の研究」

（IT 研究会第 2 グループ）

「高齢化社会に向けた年金サービスの将来像について」

（IT 研究会第 5 グループ）

##### (3) スローガンの表彰

公益社団法人化を機に、本会の目的や取り組みを改めて社会にアピールするため、会員から募集をおこない、スローガン「**Think the Future , Manage the Risk**」を制定し、最優秀作品 2 名、優秀作品 1 名を表彰した。

#### 〔広報・出版活動〕

##### (1) 広報活動

学生を主な対象とした「第 22 回アクチュアリーセミナー」を平成 25 年 11 月 30 日に大阪で、平成 26 年 1 月 25 日に東京で開催した。参加者は大阪会場 23 名、東京会場 60 名、合計 83 名が参加した。

##### (2) 情報提供機能の充実

アクチュアリー志望者や一般の人に、アクチュアリーについての理解を深めてもらうため、本会の HP で公開する「アクチュアリー用語集」を作成することとした。

### (3) 出版物の見直し

公益社団法人化に伴い、本会が発行する出版物の取扱いを見直し、教科書の価格引下げ、過去問題集、アクチュアリージャーナル、会報、会報別冊の電子化（閲覧無料）を実施し利便性の向上を図った。

### (4) 会報等の刊行

次のとおり会報をはじめ各種の刊行物を発行した。

- ① 会報 第 66 号
- ② 会報別冊 第 263 号「国際アクチュアリー会 保険市場におけるシステミックリスク規制に関するアクチュアリーの観点およびその役割」  
第 264 号「ストレステストとシナリオ分析」  
第 265 号「第 3 回 アクチュアリー海外研修報告」  
第 266 号「第 4 回 アクチュアリー海外研修報告」  
第 267 号「MCEV の実務 2 - (EV 計算シート付き)」  
第 268 号「グループ内再保険取引」  
第 269 号「EU ソルベンシー II における LTGA 技術的仕様書・結果報告書」  
第 270 号「第 53 回 IT 研究大会報告」
- ③ アクチュアリージャーナル  
第 84 号、第 85 号、第 86 号、特別号「リスクと保険」
- ④ 平成 24 年度 資格試験問題集  
平成 25 年度 資格試験問題集
- ⑤ 平成 25 年度 年次大会報告集
- ⑥ 報告書「経済価値ベースのソルベンシー規制に係る技術的検討 諸外国等の規制動向」
- ⑦ その他書籍「一般化線形モデルを使用した損害保険料率の算定」